

令和 3 年度  
草津市のまちづくりについての  
市民意識調査結果報告書

草津市

## 目 次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 調査概要 .....                | 1  |
| 2. 調査結果 .....                | 2  |
| (1) 回答者属性 .....              | 2  |
| ①性別                          |    |
| ②年齢                          |    |
| ③居住年数                        |    |
| ④転入歴                         |    |
| ⑤居住地区                        |    |
| (2) 基本方針別にみる満足度評価 .....      | 5  |
| ①「こころ」育むまちの基本方針              |    |
| ②「笑顔」輝くまちの基本方針               |    |
| ③「暮らし」支えるまちの基本方針             |    |
| ④「魅力」あふれるまちの基本方針             |    |
| ⑤「未来」への責任の基本方針               |    |
| (3) 基本方針別にみる重要度評価 .....      | 10 |
| ①「こころ」育むまちの基本方針              |    |
| ②「笑顔」輝くまちの基本方針               |    |
| ③「暮らし」支えるまちの基本方針             |    |
| ④「魅力」あふれるまちの基本方針             |    |
| ⑤「未来」への責任の基本方針               |    |
| (4) 基本方針別にみる満足度と重要度 .....    | 15 |
| ①「こころ」育むまちの基本方針              |    |
| ②「笑顔」輝くまちの基本方針               |    |
| ③「暮らし」支えるまちの基本方針             |    |
| ④「魅力」あふれるまちの基本方針             |    |
| ⑤「未来」への責任の基本方針               |    |
| (5) まちの住み心地や日常の生活行動など .....  | 20 |
| ①まちの住み心地など                   |    |
| ②日常の生活行動など                   |    |
| ③市民であることの誇りや定住意向             |    |
| (6) S D G s（持続可能な開発目標） ..... | 24 |
| S D G s（持続可能な開発目標）の17の目標への関心 |    |

## 1. 調査概要

### 【調査目的】

令和3年度から開始した第6次草津市総合計画第1期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

### 【調査対象者】

市民 3,000 人

### 【選定方法】

住民基本台帳の18歳以上の者から、年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出とした。

### 【抽出条件】

抽出基準日：令和4年1月1日（土）

### 【調査方法】

調査は無記名とし、令和4年2月1日（火）から2月21日（月）までを調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

### 【回収状況】

有効回答数 1,019 件、有効回答率 34.0%を得た。有効回答のうち、紙の調査票による回答が 656 件で 64.4%、ネットによる回答が 363 件で 35.6%であった。

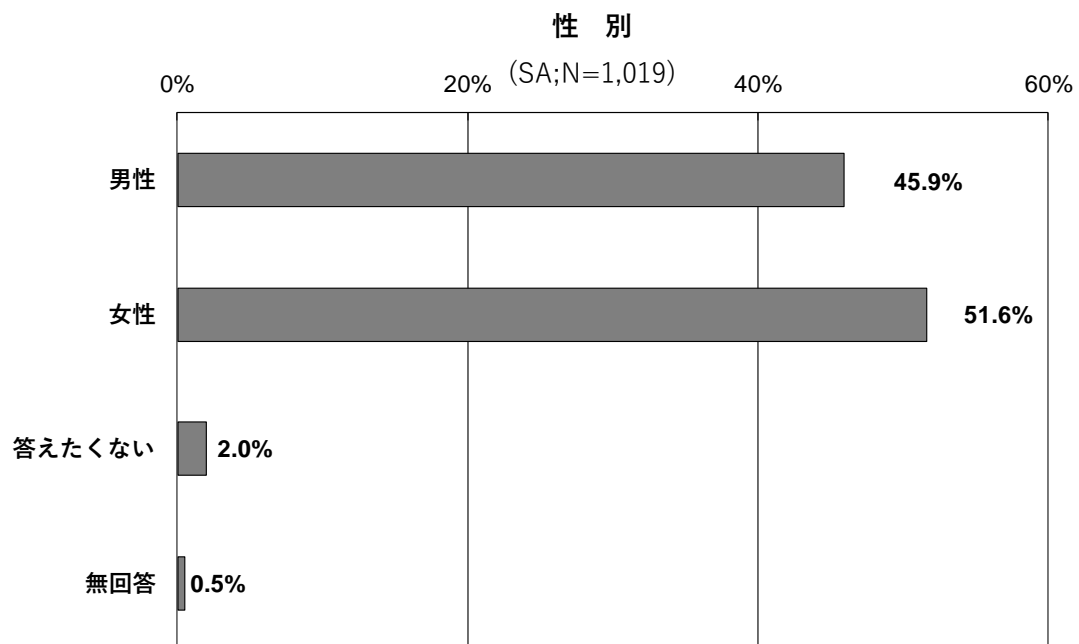
**調査結果の表記について：**百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第2位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

## 2. 調査結果

### (1) 回答者属性

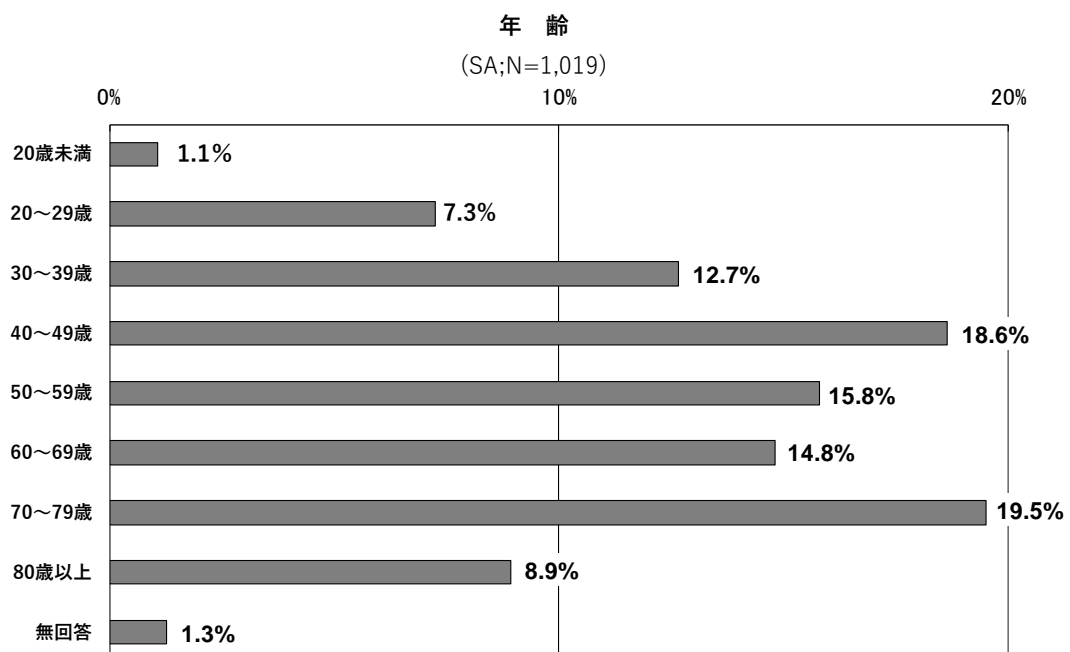
#### ①性別

「男性」が45.9%、「女性」が51.6%、「答えたくない」が2.0%となっています。



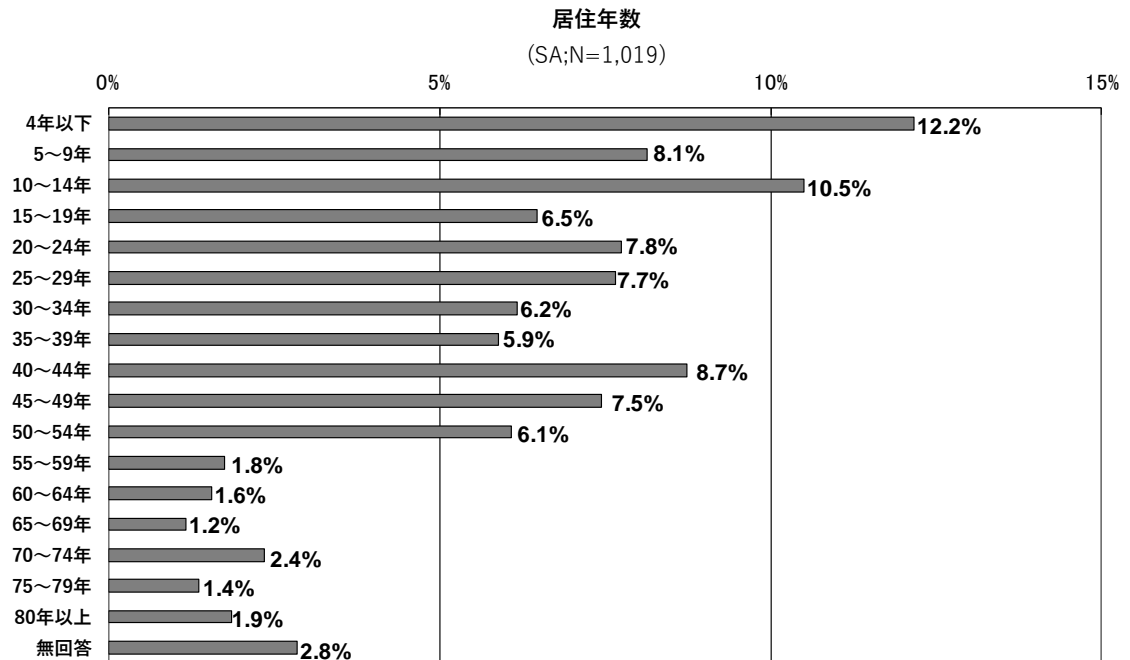
#### ②年齢

「70～79歳」が最も多く19.5%、次いで「40～49歳」が18.6%、「50～59歳」が15.8%などとなっています。



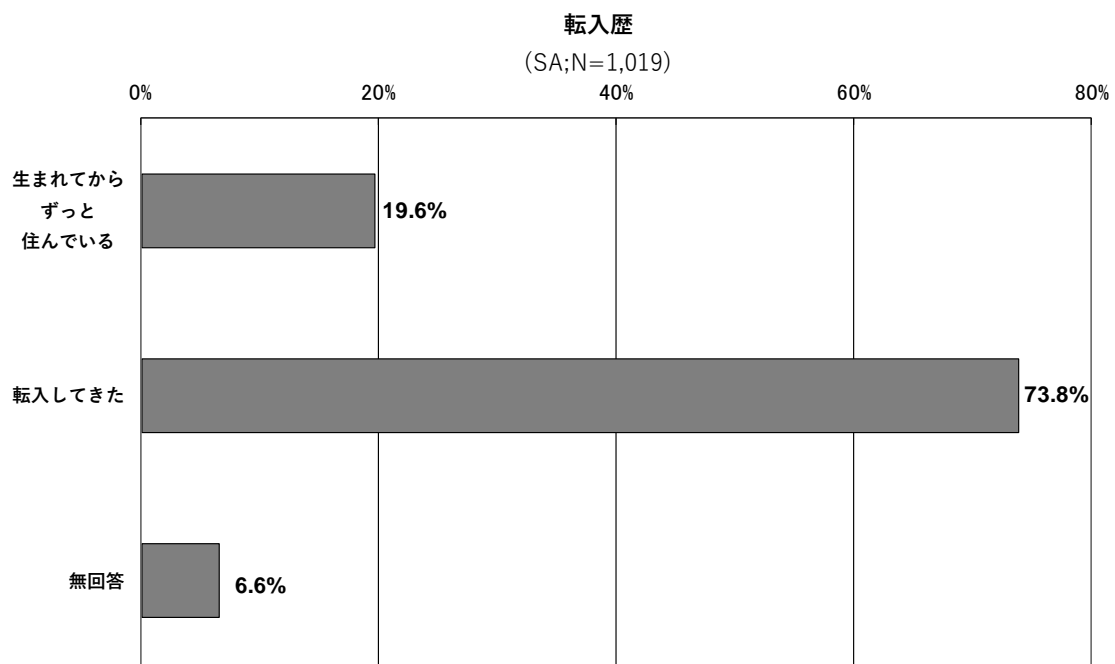
### ③居住年数

「4年以下」が最も多く12.2%、次いで「10～14年」が10.5%、「40～44年」が8.7%、「5～9年」が8.1%などとなっています。



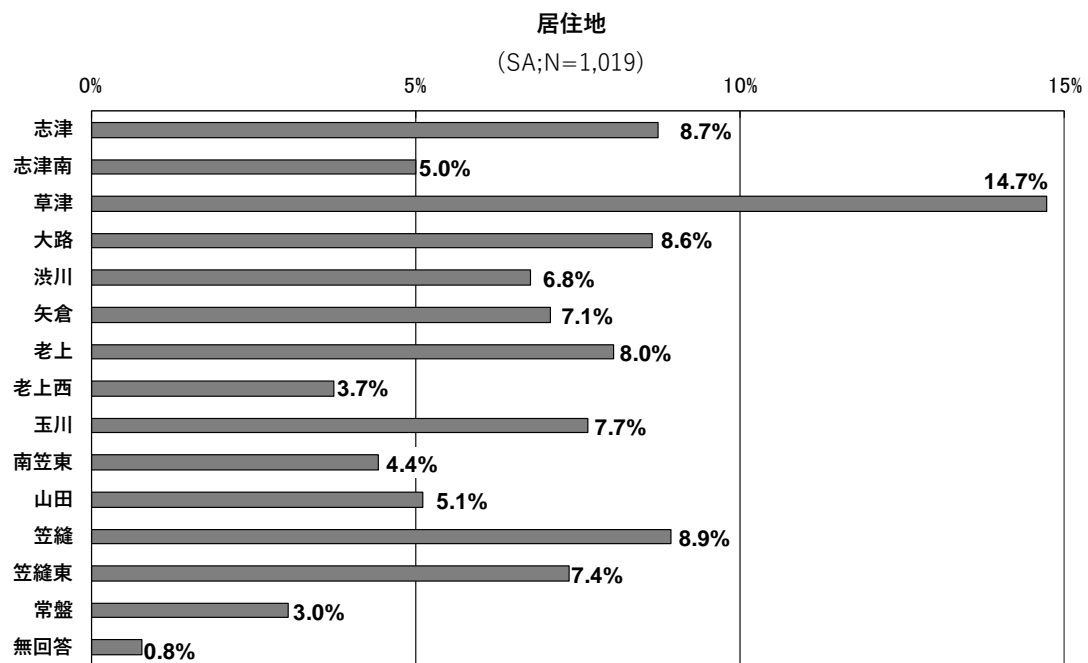
### ④転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が19.6%、「転入してきた」が73.8%となっています。



### ⑤居住地区

「草津」が最も多く 14.7%、次いで「笠縫」が 8.9%、「志津」が 8.7%、「大路」が 8.6%などとなっています。



## (2) 基本方針別にみる満足度評価

### ①「こころ」育むまちの基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 13.0%、次いで「スポーツの充実」が 9.6%などとなっています。

「やや満足」は「子どもの生きる力を育む教育の推進」が最も多く 21.7%、次いで「人権の尊重」が 17.9%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く 50.8%、次いで「文化・芸術の振興」が 50.1%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 11.2%、次いで「生涯学習の推進」が 9.1%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 7.1%、次いで「スポーツの充実」が 5.0%などとなっています。

「わからない」は「学校の教育力の向上」が最も多く 21.5%、次いで「生涯学習の推進」が 18.5%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評価点を与えて平均点を求めたものである。

## ②「笑顔」輝くまちの基本方針

「満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 13.3%、次いで、「医療保険制度の適正運用」が 11.2%などとなっています。

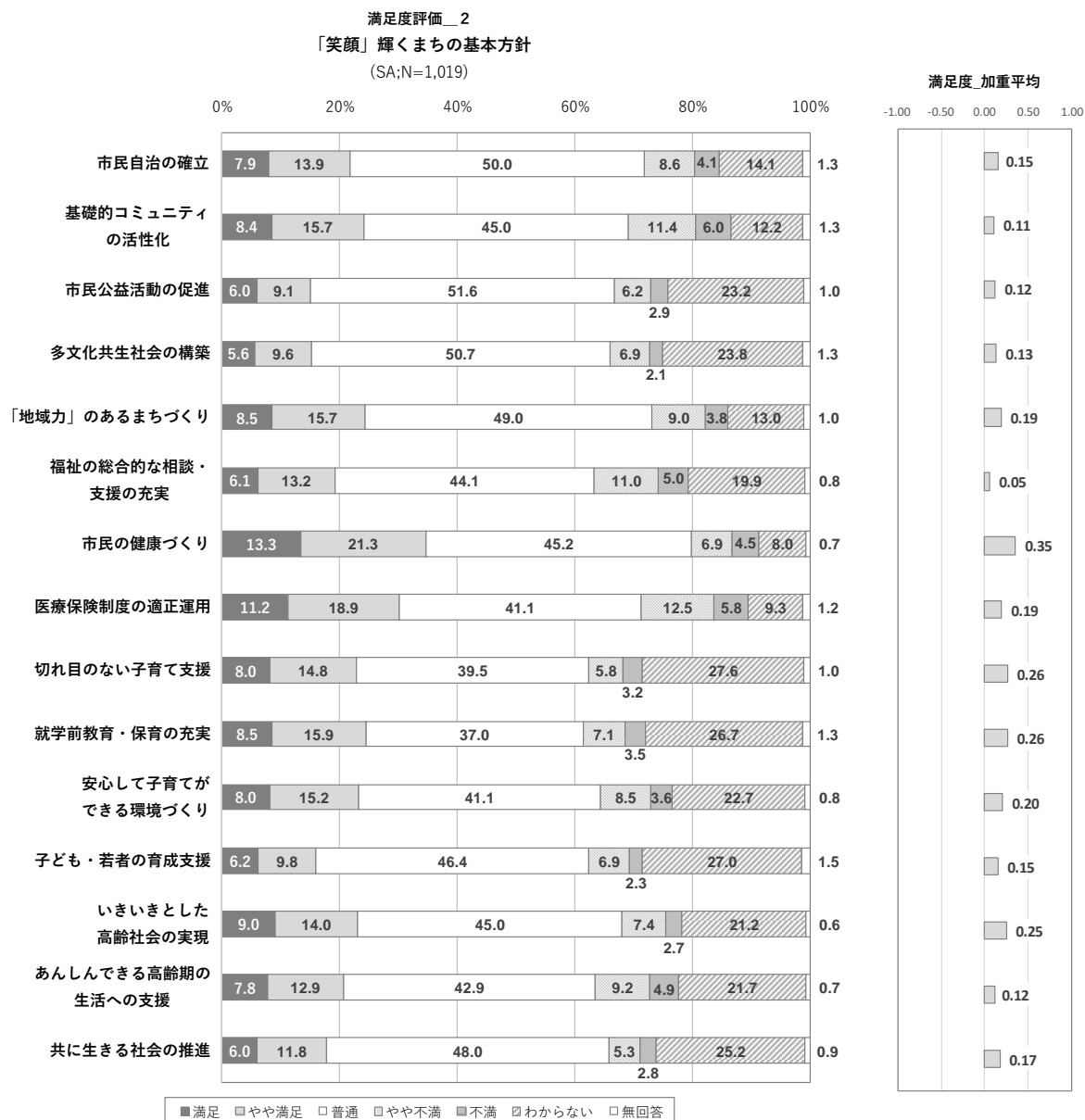
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 21.3%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 18.9%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 51.6%、次いで「多文化共生社会の構築」が 50.7%などとなっています。

「やや不満」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 12.5%、次いで「基礎的コミュニティの活性化」が 11.4%などとなっています。

「不満」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 6.0%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 5.8%などとなっています。

「わからない」は「切れ目のない子育て支援」が最も多く 27.6%、次いで「子ども・若者の育成支援」が 27.0%などとなっています。





### ③「暮らし」支えるまちの基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 22.1%、次いで「下水道の安定運営」が 18.8%などとなっています。

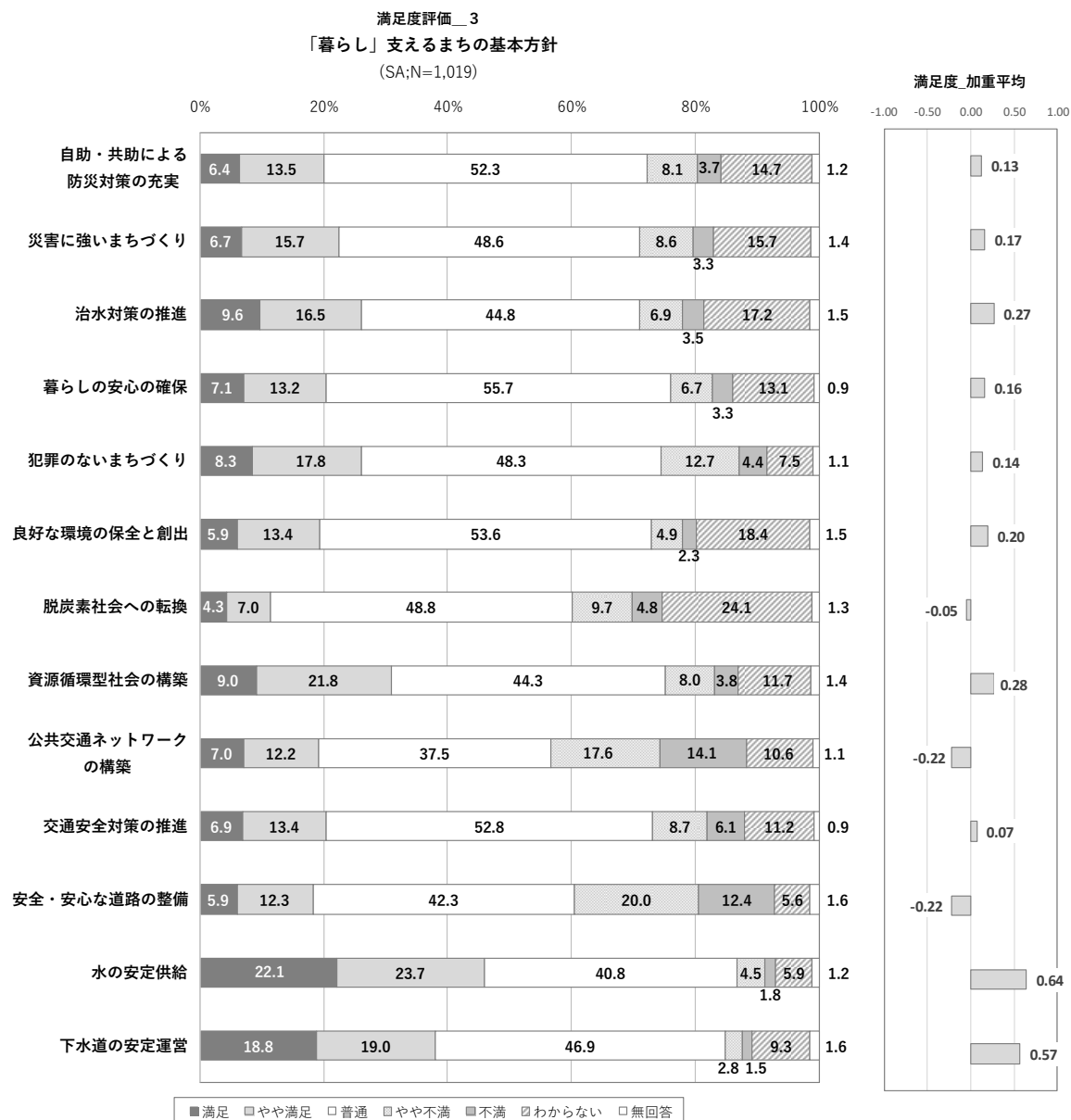
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 23.7%、次いで「資源循環型社会の構築」が 21.8%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 55.7%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 53.6%などとなっています。

「やや不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 20.0%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 17.6%などとなっています。

「不満」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 14.1%、次いで「安全・安心な道路の整備」が 12.4%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 24.1%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 18.4%などとなっています。



#### ④「魅力」あふれるまちの基本方針

「満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 13.5%、次いで「中心市街地の活性化」が 7.7%などとなっています。

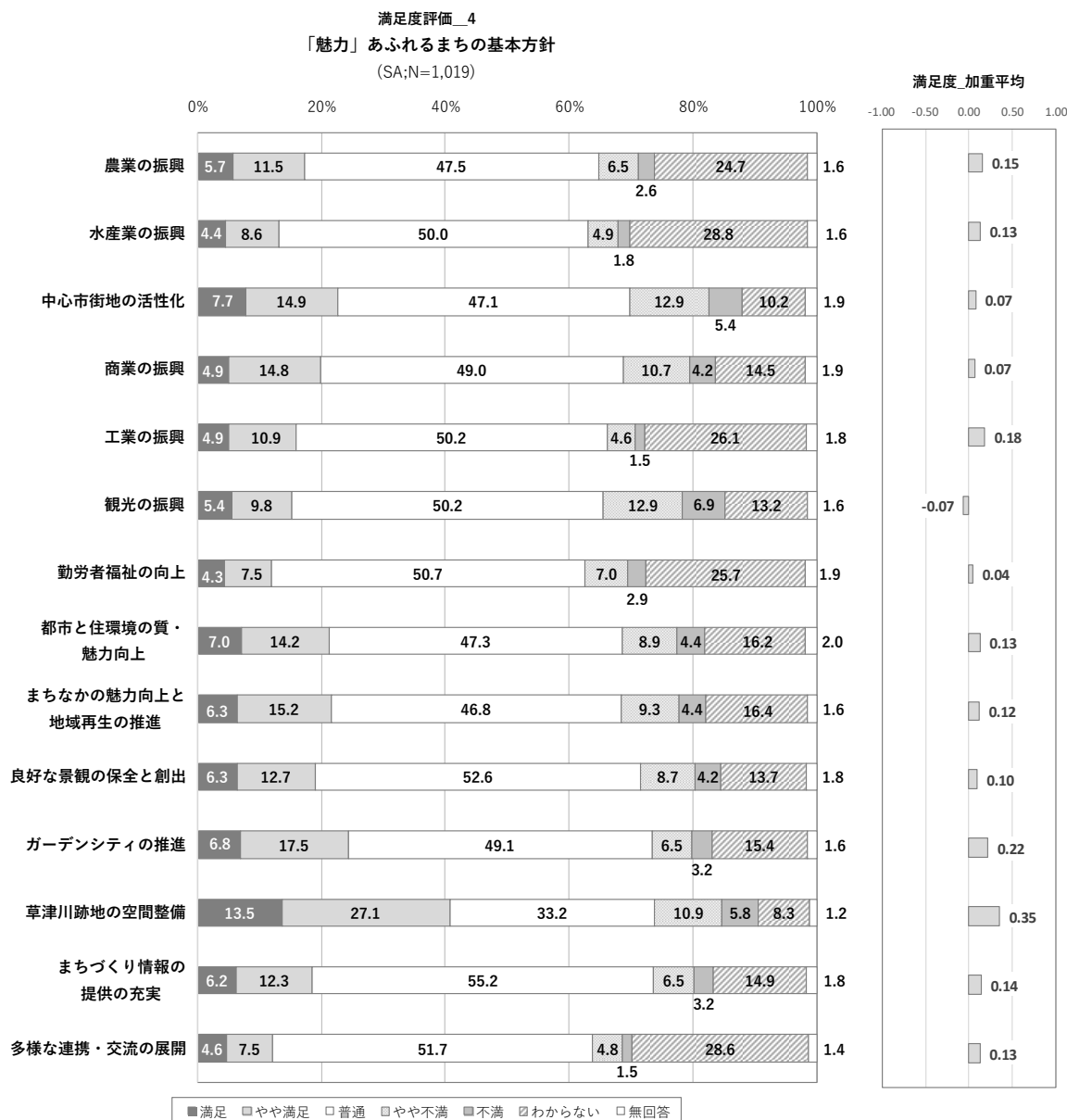
「やや満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 27.1%、次いで「ガーデンシティの推進」が 17.5%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 55.2%、次いで「良好な景観の保全と創出」が 52.6%などとなっています。

「やや不満」は「中心市街地の活性化」と「観光の振興」が最も多く 12.9%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 10.9%などとなっています。

「不満」は「観光の振興」が最も多く 6.9%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 5.8%などとなっています。

「わからない」は「水産業の振興」が最も多く 28.8%、次いで「多様な連携・交流の展開」が 28.6%などとなっています。



## ⑤「未来」への責任の基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 7.6%などとなっています。

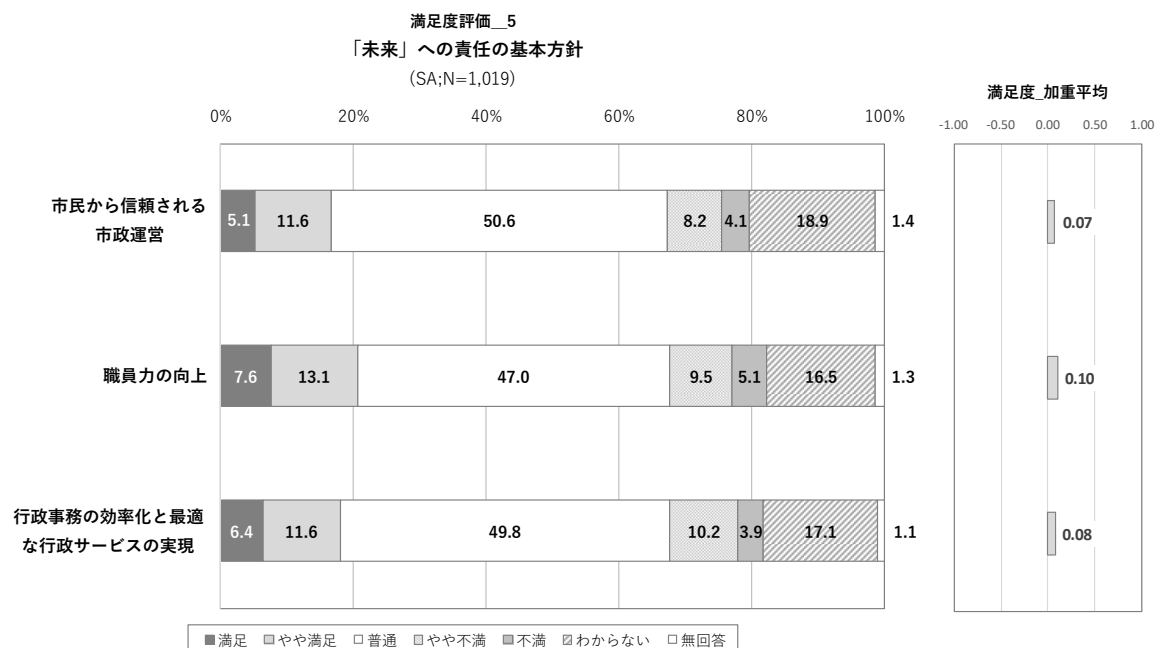
「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 13.1%などとなっています。

「普通」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 50.6%などとなっています。

「やや不満」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 10.2%などとなっています。

「不満」は「職員力の向上」が最も多く 5.1%などとなっています。

「わからない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 18.9%などとなっています。



### (3) 基本方針別にみる重要度評価

#### ①「こころ」育むまちの基本方針

「思う」は「学校の教育力の向上」が最も多く 55.0%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 51.4%などとなっています。

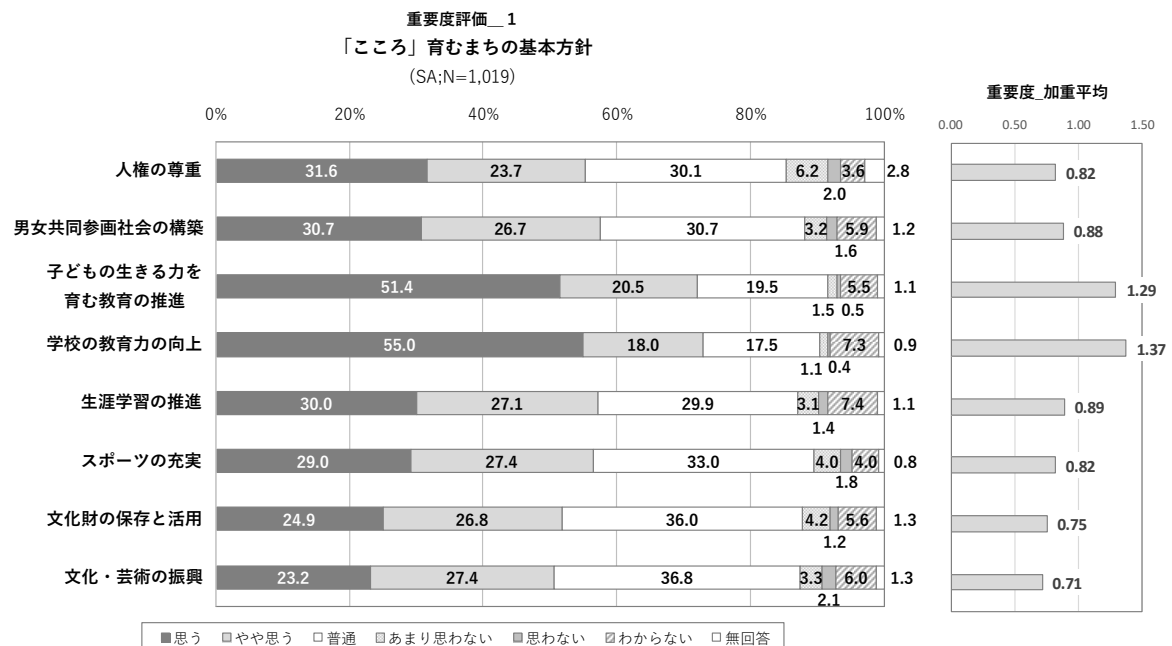
「やや思う」は「スポーツの充実」と「文化・芸術の振興」が最も多く 27.4%、次いで「生涯学習の推進」が 27.1%などとなっています。

「普通」は「文化・芸術の振興」が最も多く 36.8%、次いで「文化財の保存と活用」が 36.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「人権の尊重」が最も多く 6.2%、次いで「文化財の保存と活用」が 4.2%などとなっています。

「思わない」は「文化・芸術の振興」が最も多く 2.1%、次いで「人権の尊重」が 2.0%などとなっています。

「わからない」は「生涯学習の推進」が最も多く 7.4%、次いで「学校の教育力の向上」が 7.3%などとなっています。



**加重平均について：**「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

## ②「笑顔」輝くまちの基本方針

「思う」は「安心して子育てができる環境づくり」が最も多く 51.3%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 49.1%などとなっています。

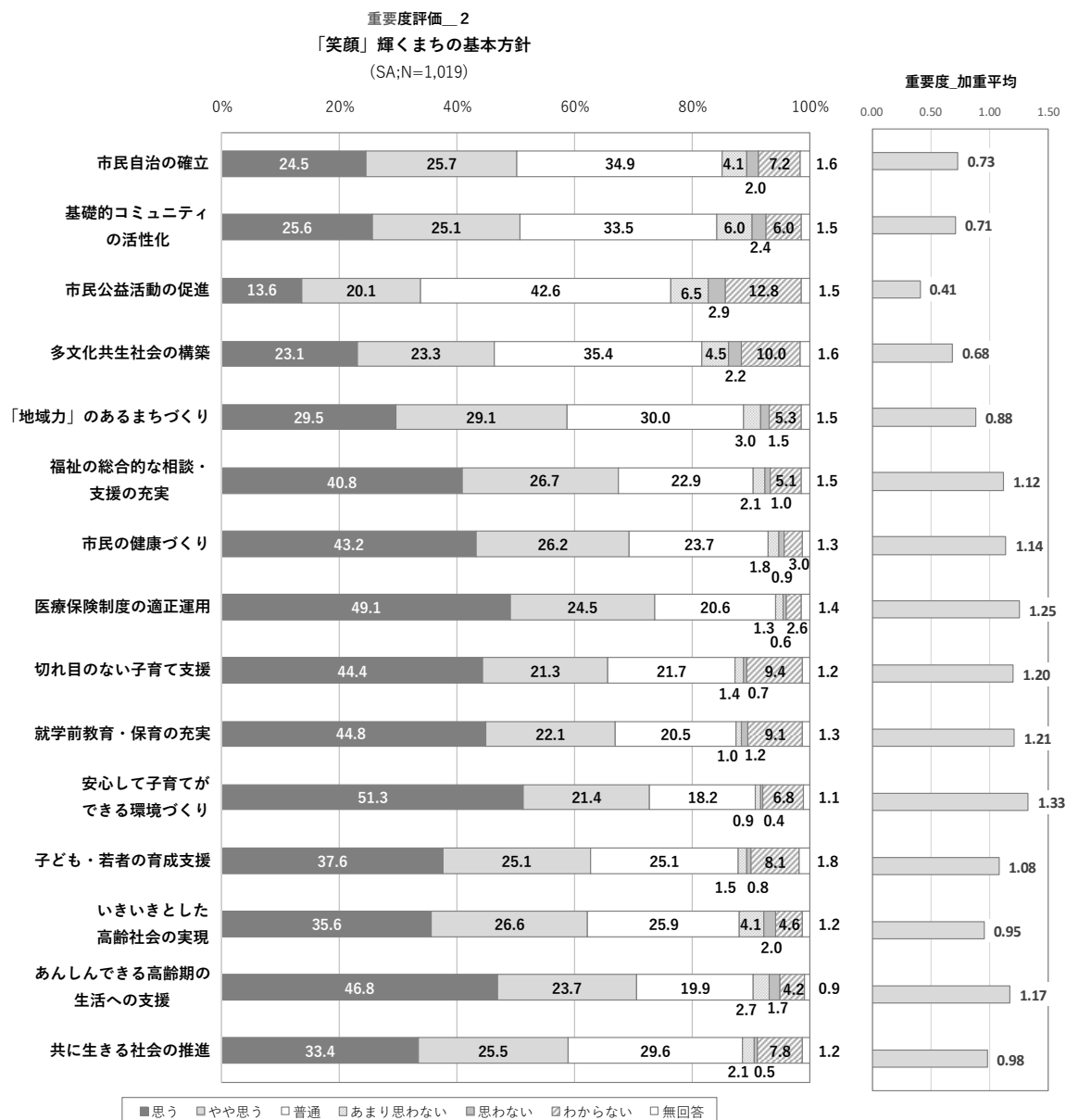
「やや思う」は『「地域力」のあるまちづくり』が最も多く 29.1%、次いで「福祉の総合的な相談・支援の充実」が 26.7%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 42.6%、次いで「多文化共生社会の構築」が 35.4%などとなっています。

「あまり思わない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 6.5%、次いで「基礎的コミュニティの活性化」が 6.0%などとなっています。

「思わない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 2.9%、次いで「基礎的コミュニティの活性化」が 2.4%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 12.8%、次いで「多文化共生社会の構築」が 10.0%などとなっています。



### ③「暮らし」支えるまちの基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 55.3%、次いで「災害に強いまちづくり」が 50.6%などとなっています。

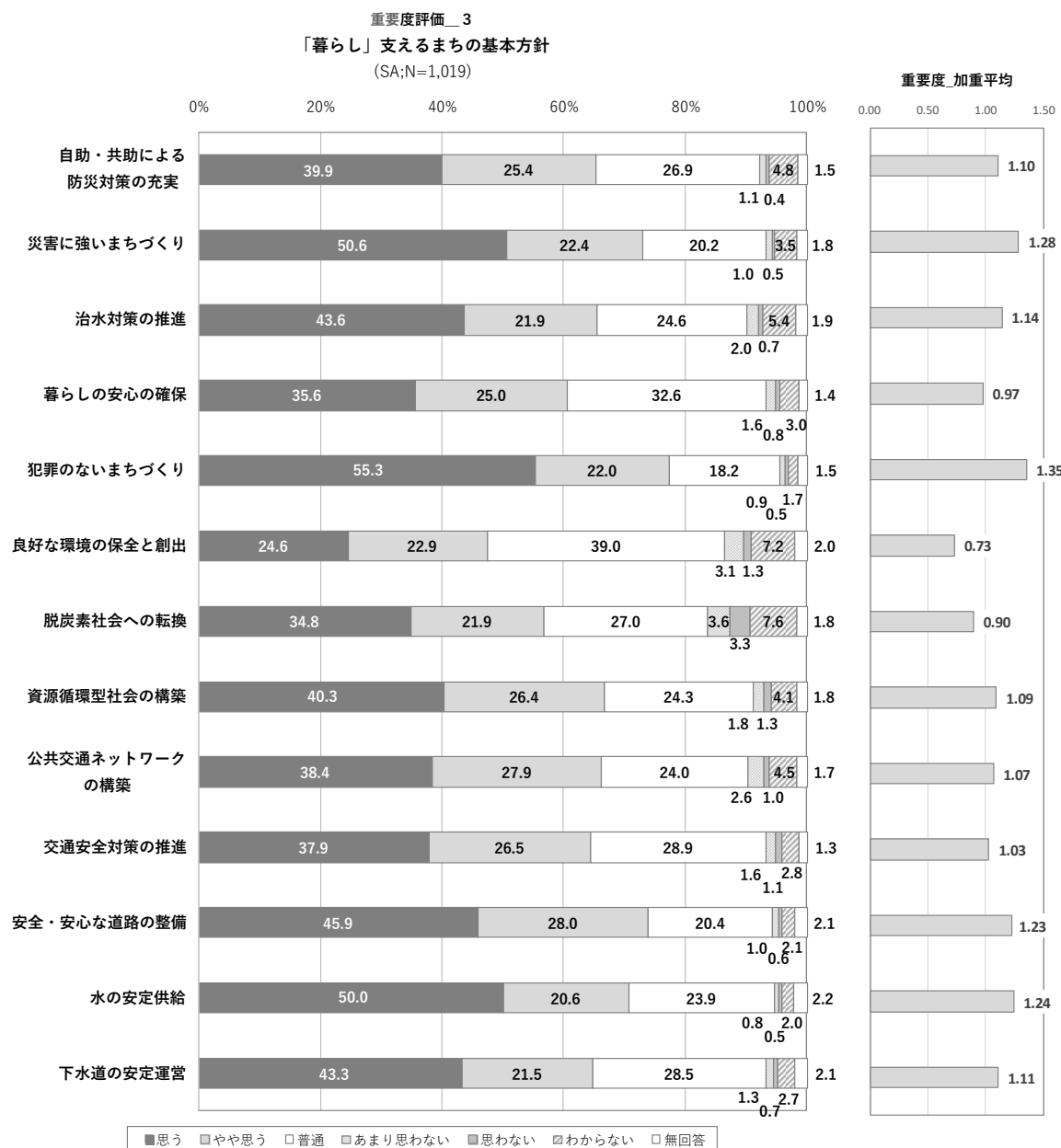
「やや思う」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 28.0%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 27.9%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 39.0%、次いで「暮らしの安心の確保」が 32.6%などとなっています。

「あまり思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 3.6%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 3.1%などとなっています。

「思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 3.3%、次いで「良好な環境の保全と創出」と「資源循環型社会の構築」が 1.3%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 7.6%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 7.2%などとなっています。



#### ④「魅力」あふれるまちの基本方針

「思う」は「都市と住環境の質・魅力向上」が最も多く 31.2%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 28.6%などとなっています。

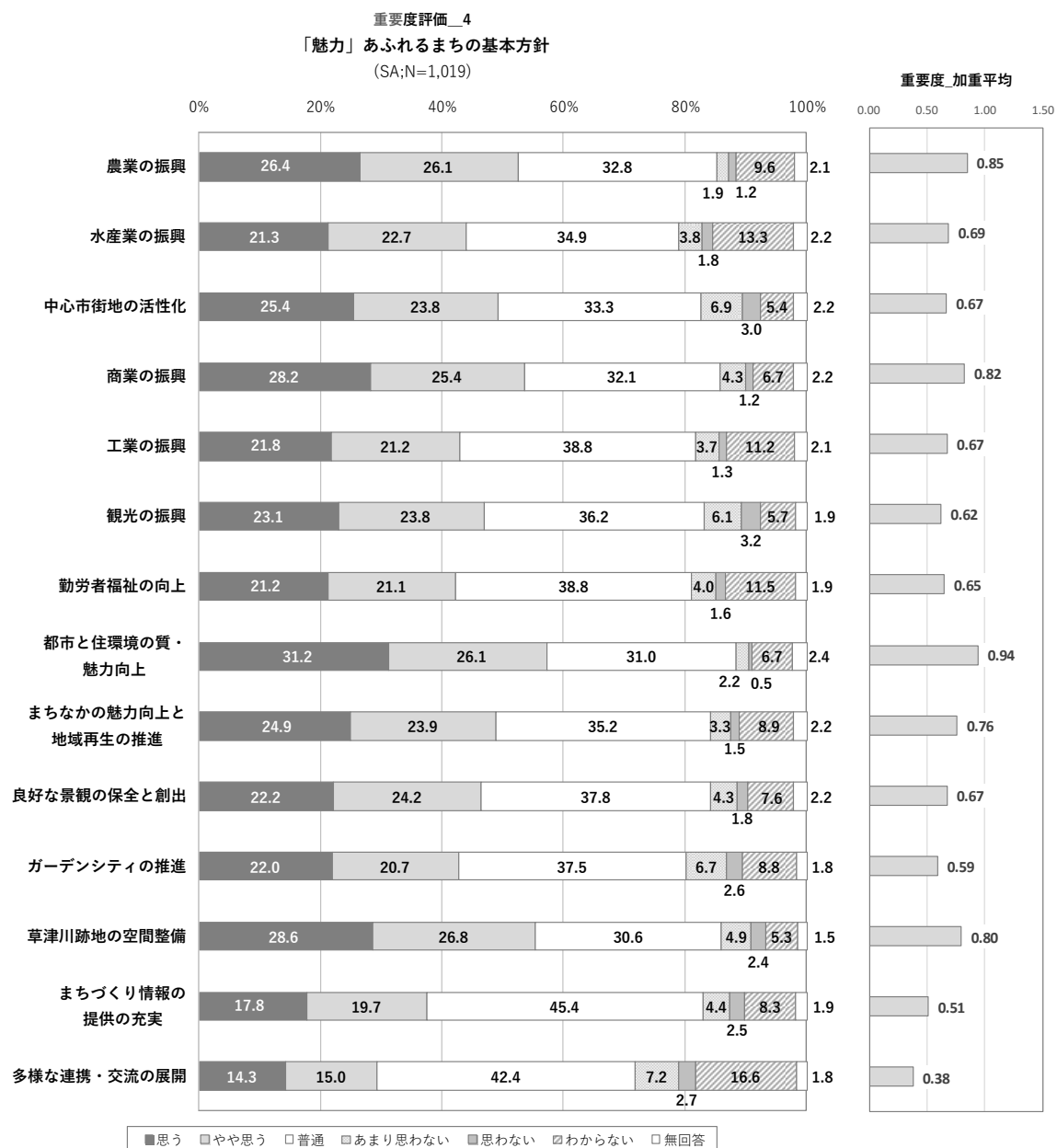
「やや思う」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 26.8%、次いで「農業の振興」と「都市と住環境の質・魅力向上」が 26.1%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 45.4%、次いで「多様な連携・交流の展開」が 42.4%などとなっています。

「あまり思わない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 7.2%、次いで「中心市街地の活性化」が 6.9%などとなっています。

「思わない」は「観光の振興」が最も多く 3.2%、次いで「中心市街地の活性化」が 3.0%などとなっています。

「わからない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 16.6%、次いで「水産業の振興」が 13.3%などとなっています。



## ⑤「未来」への責任の基本方針

「思う」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 35.7%などとなっています。

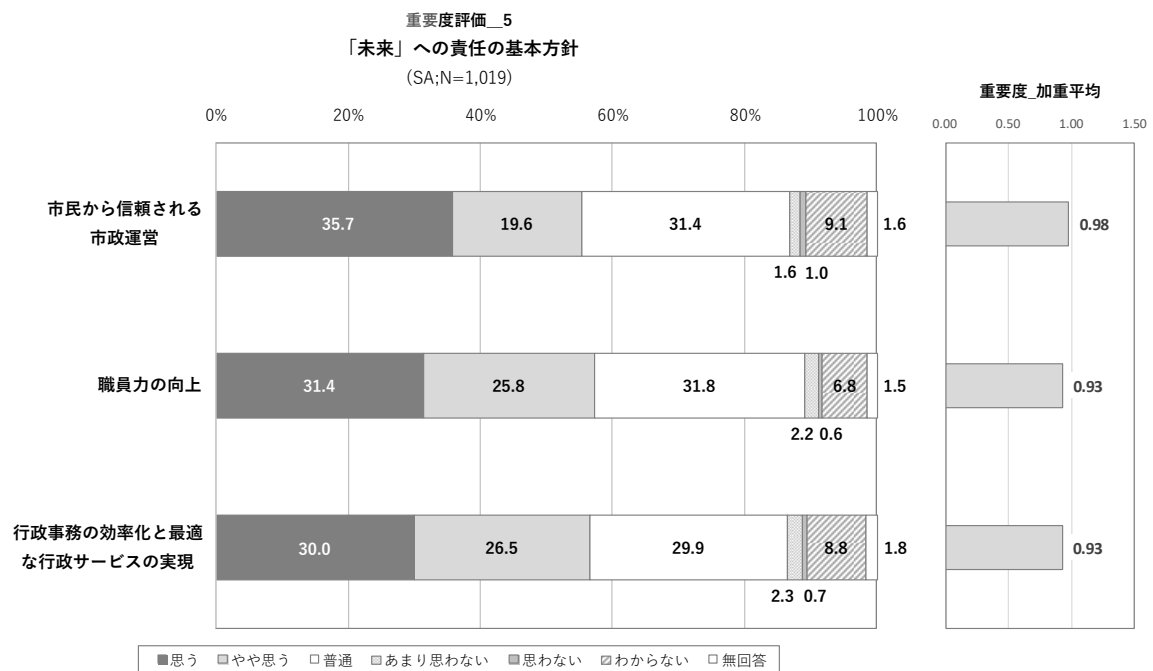
「やや思う」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 26.5%などとなっています。

「普通」は「職員力の向上」が最も多く 31.8%などとなっています。

「あまり思わない」は「行政事務の効率化と最適なサービスの実現」が最も多く 2.3%などとなっています。

「思わない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 1.0%などとなっています。

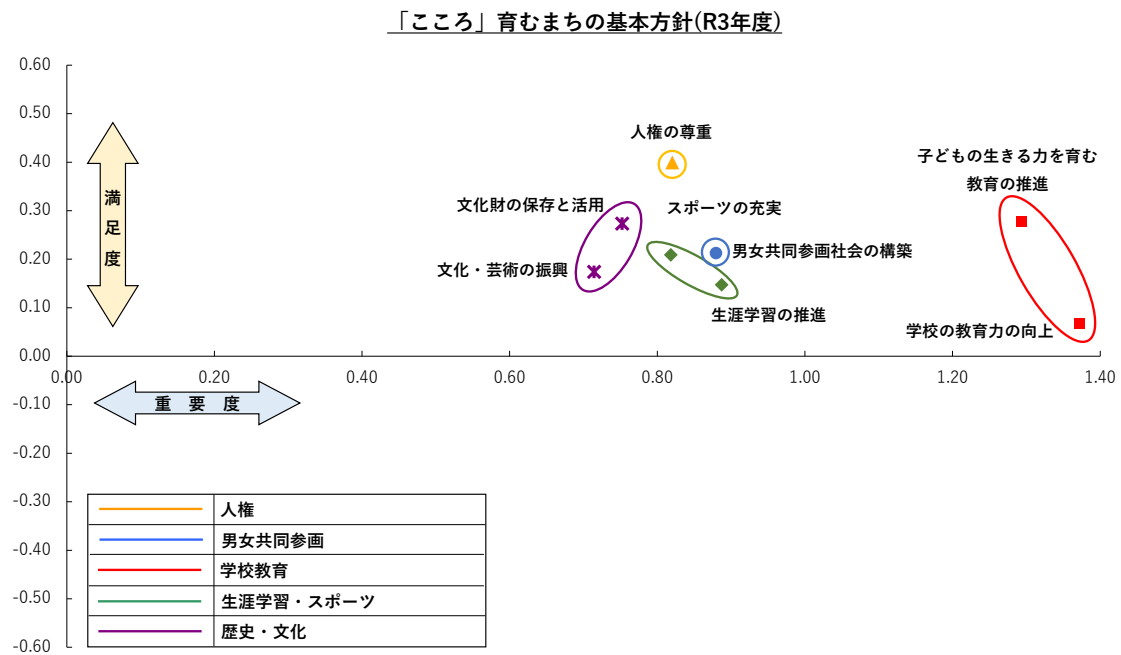
「わからない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 9.1%などとなっています。





## ①「こころ」育むまちの基本方針

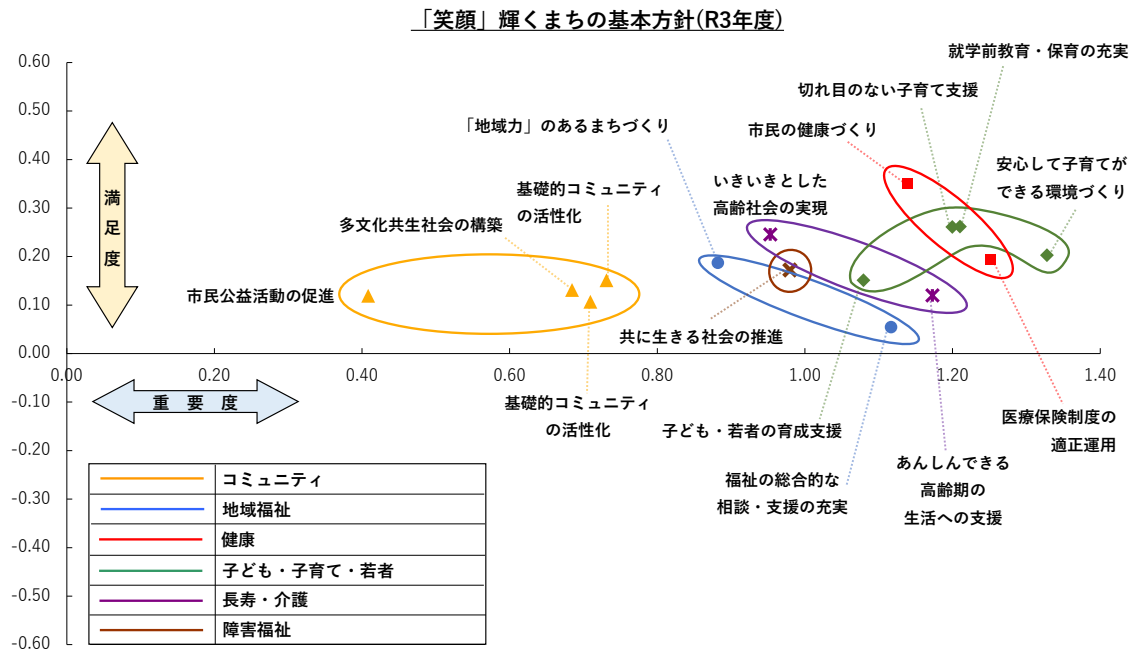
また人権意識の高まりからか「人権の尊重」の基本方針は、重要度もある程度高く、満足度は最も高くなっています。



## ②「笑顔」輝くまちの基本方針

「笑顔」輝くまちの基本方針のうち、「子ども・子育て・若者」の分野では、他の分野と比較して満足度・重要度ともに高くなっているのに対し、「コミュニティ」の分野は満足度・重要度ともに低くなっています。

重要度は比較的高いのに満足度が低いのが「地域福祉」です。



「暮らし」を支えるまちの基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度・重要度ともに他の分野より高くなっています。

「暮らし」支えるまちの基本方針(R3年度)

満足度

重要度

防災

生活安心・防犯

環境

交通

道路

上下水道

水の安定供給

下水道の安定運営

犯罪のないまちづくり

資源循環型社会の構築

治水対策の推進

災害に強いまちづくり

交通安全対策の推進

公共交通安全ネットワークの構築

脱炭素社会への転換

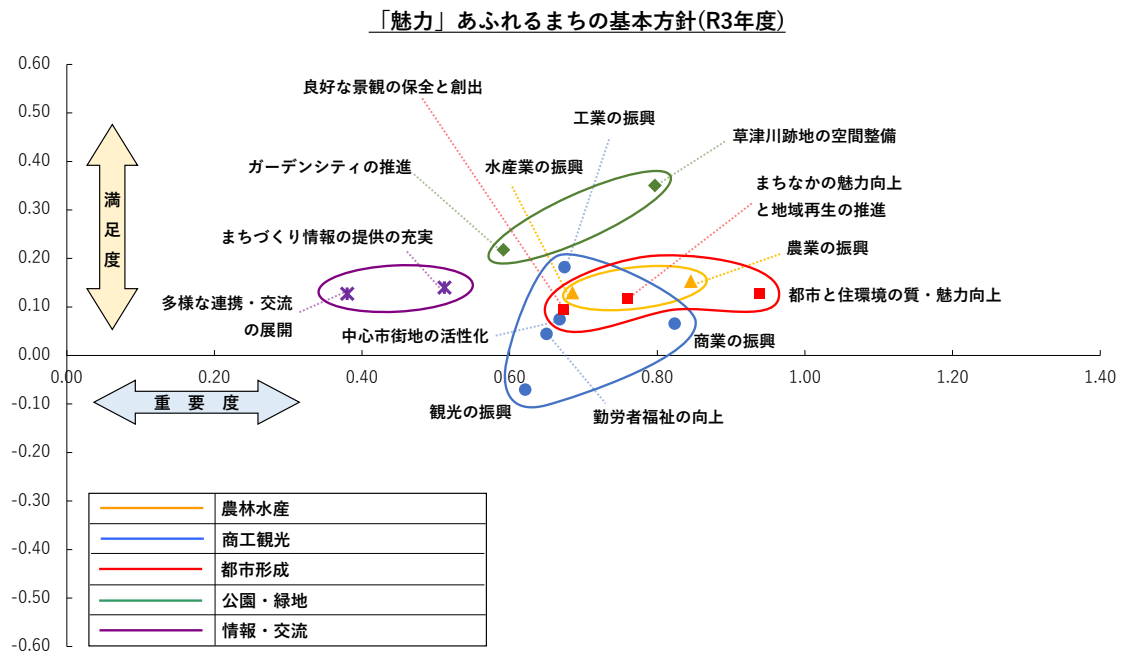
暮らしの安心の確保

良好な環境の保全と創出

自助・共助による防災対策の充実

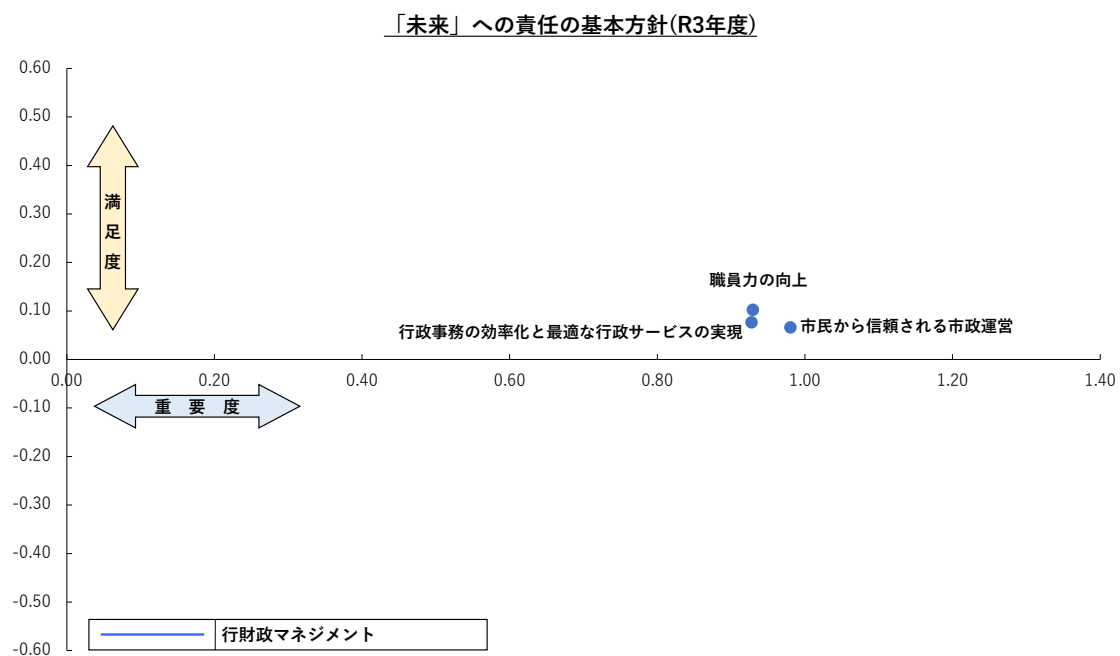
#### ④「魅力」あふれるまちの基本方針

「魅力」あふれるまちの基本方針のうち、「公園・緑地」の分野では満足度が高く、「商工観光」の分野は「観光の振興」で満足度がかなり低くなっています。



# ⑤「未来」への責任のための基本方針

「未来」への責任のための基本方針は、どの分野も、満足度が低く、重要度が高くなっています。



## (5) まちの住み心地や日常の生活行動など

### ①まちの住み心地など

「そう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 40.9%、次いで「買物をする環境が整っている」が 35.8%などとなっています。

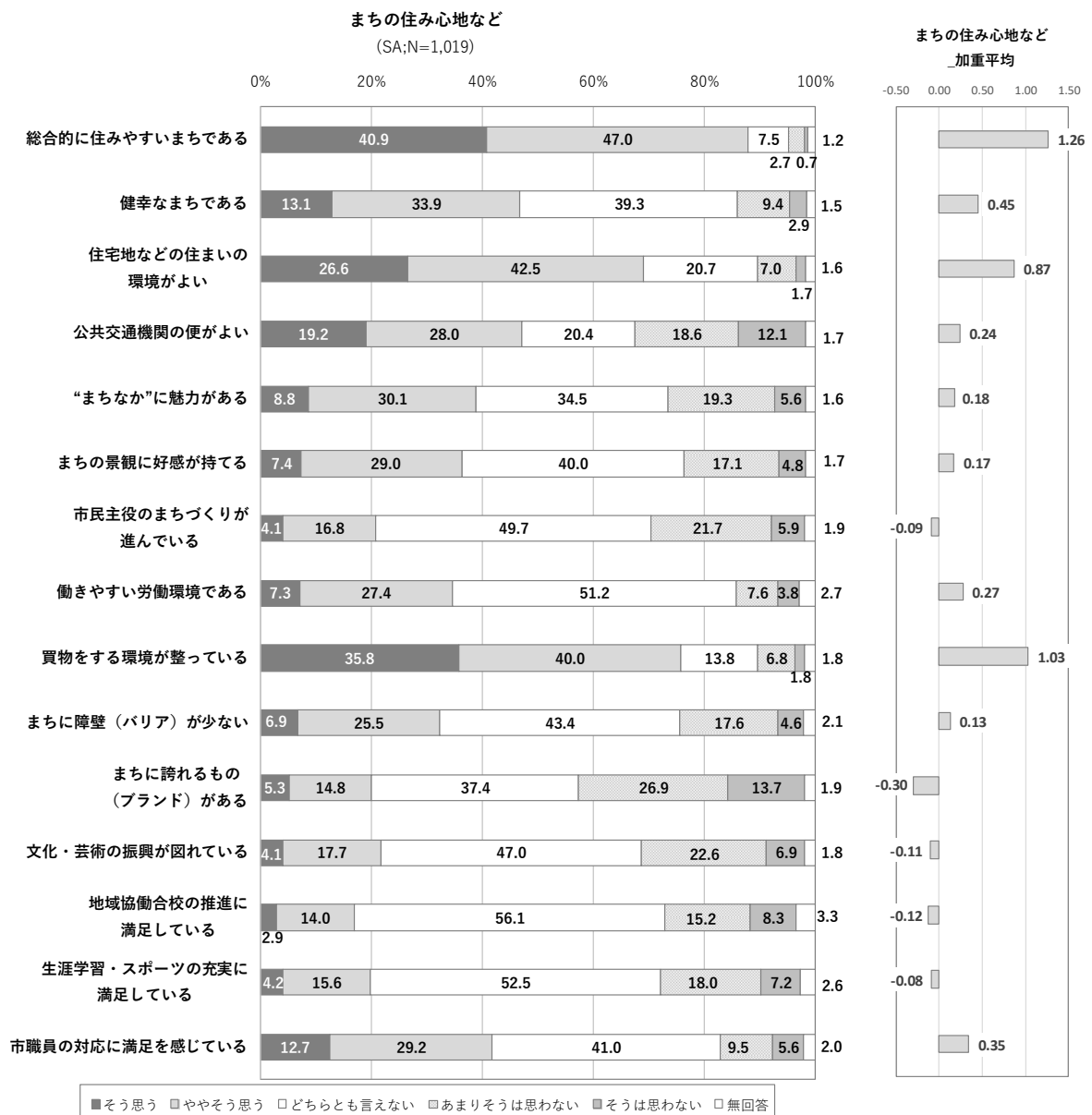
「ややそう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 47.0%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 42.5%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地域協働学校の推進に満足している」が最も多く 56.1%、次いで「生涯学習・スポーツの充実に満足している」が 52.5%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 26.9%、次いで「文化・芸術の振興が図れている」が 22.6%などとなっています。

「そうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 13.7%、次いで「公共交通機関の便がよい」が 12.1%などとなっています。

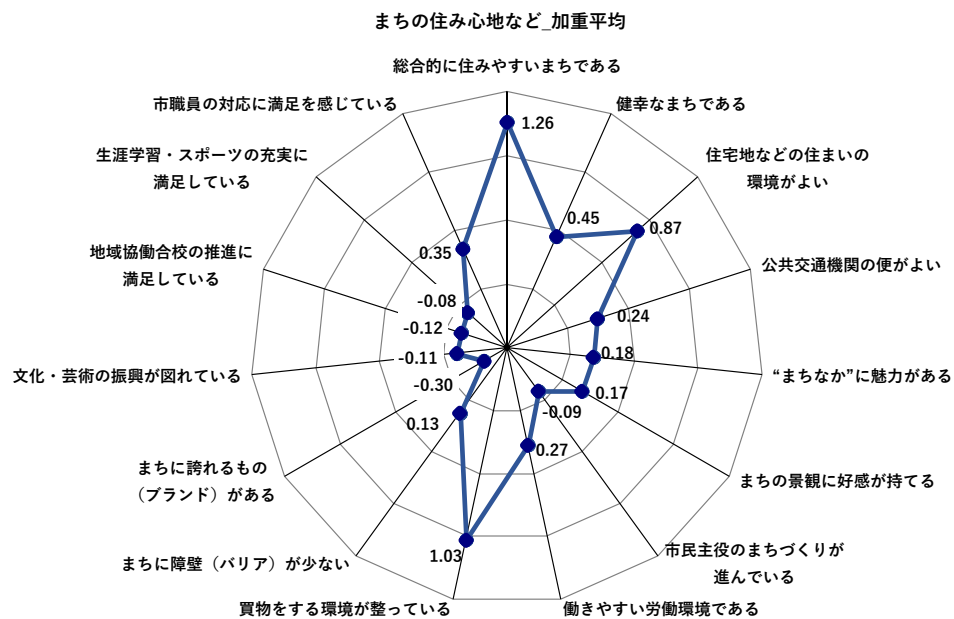
「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 47.0%、次いで「そう思う」が 40.9%などとなっています。



## 【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「地域協働学校の推進に満足している」「文化・芸術の振興が図れている」においては評価が低くなっています。



**加重平均について：**「そう思う (2)」「ややそう思う (1)」「どちらともいえない (0)」「あまりそうは思わない (-1)」「そうは思わない (-2)」として全体の平均値を算出したものである。

## ②日常の生活行動など

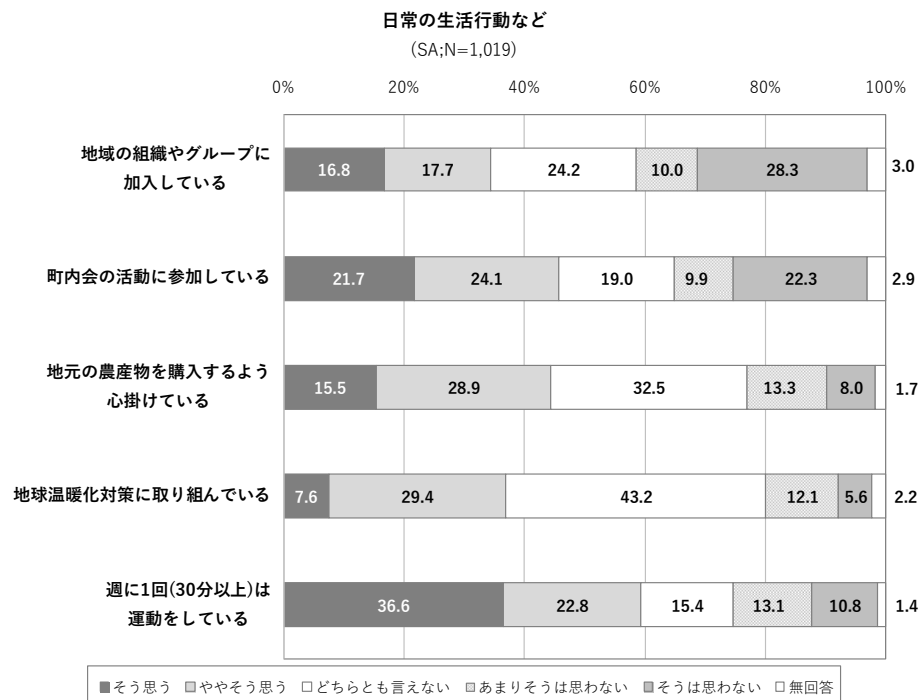
「そう思う」は「週に1回（30分以上）は運動をしている」が最も多く 36.6%、次いで「町内会の活動に参加している」が 21.7%などとなっています。

「ややそう思う」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く 29.4%、次いで「地元の農産物を購入するよう心掛けている」が 28.9%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く 43.2%、次いで「地元の農産物を購入するよう心がけている」が 32.5%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の農産物を購入するよう心掛けている」が最も多く 13.3%、次いで「週に1回（30分以上）は運動をしている」が 13.1%などとなっています。

「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く 28.3%、次いで「町内会の活動に参加している」が 22.3%などとなっています。

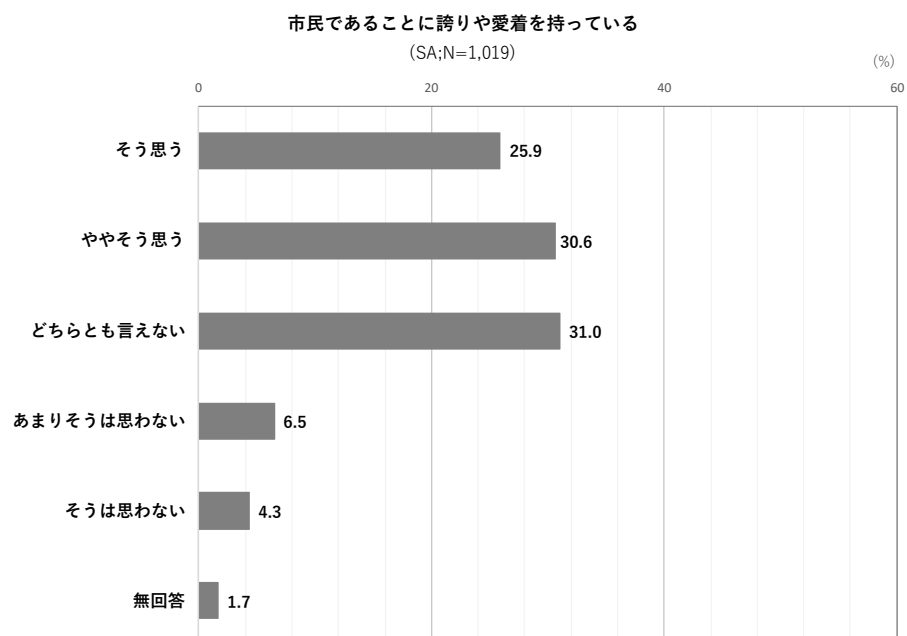
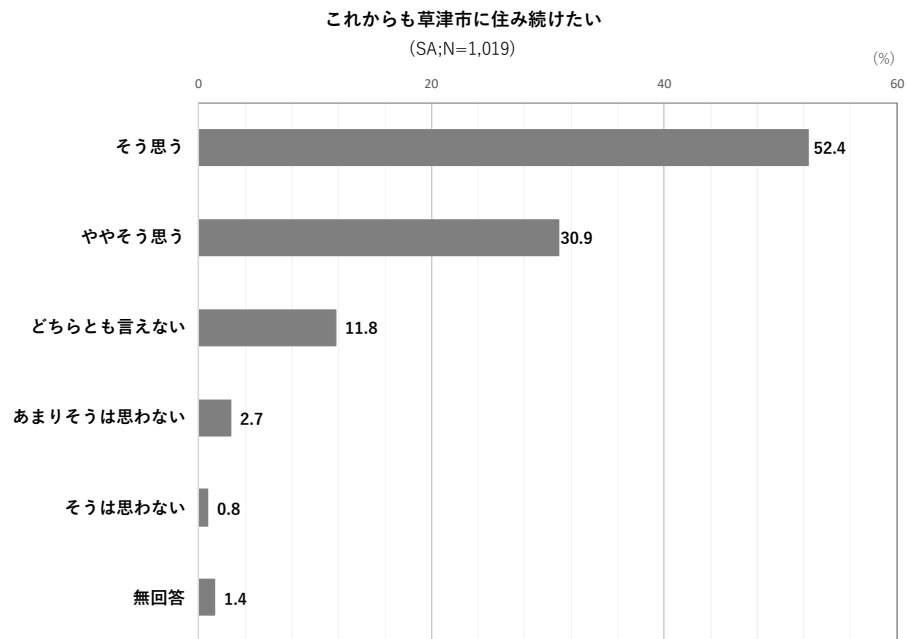




### ③市民であることの誇りや定住意向

「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く 52.4%、次いで「ややそう思う」が 30.9%などとなっています。

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「どちらとも言えない」が最も多く 31.0%、次いで「ややそう思う」が 30.6%などとなっています。



## (6) SDGs（持続可能な開発目標）

### SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標への関心

「すべての人に健康と福祉を」が最も多く14.0%、次いで「住み続けられるまちづくりを」が12.4%、「質の高い教育をみんなに」が7.8%などとなっています。

